

名城大学開学 100 周年記念 10/3 森和俊教授の本学薬学部教授就任記念 シンポジウムを開催

名城大学（愛知県名古屋市）は 2026 年に開学 100 周年を迎えました。この記念事業の一環であり、2026 年 4 月に本学薬学部に着任した森和俊教授の就任記念として、10 月 3 日（土）に「生命活動を担うタンパク質の合成・成熟と品質管理のしくみー小胞体からゴルジ体に至る分泌経路恒常性と疾患・創薬ー」をテーマにシンポジウムを開催します。

当日は、森教授がその仕組みを解明した、細胞内でタンパク質の品質管理を担う「小胞体ストレス応答」について講演するほか、小胞体とゴルジ体のストレス応答を専門とする研究者 6 人が、糖尿病やアルツハイマー病などの疾患の理解や、新たな治療法・創薬につながる最新の研究成果について講演します。

今回のシンポジウムは専門性の高い内容を含みますが、どなたでも聴講可能です。報道関係の皆さまにおかれましても、ぜひ、取材にお越しく下さい。



【講演者と演題】

- ・ 森 和俊 名城大学教授「分子シャペロンと小胞体ストレス応答によるタンパク質の品質管理」
- ・ 吉田秀郎 兵庫県立大学教授「ゴルジ体ストレス応答によるゴルジ体の恒常性維持機構」
- ・ 清水重臣 東京科学大学特別教授「ゴルジ体ストレス応答と GOMED」
- ・ 加藤晃一 自然科学研究機構教授「糖タンパク質の細胞内成熟の分子機構の探究（仮）」
- ・ 堀 修 金沢大学教授「神経系における小胞体ストレス応答(UPR)の重要性ー病態から発生までー」
- ・ 今泉和則 大阪大学特任教授「小胞体ストレス応答の多様性と生理/病態における役割」
- ・ 親泊政一 徳島大学教授「小胞体ストレス応答から創薬へ：基礎研究の実装化戦略（仮）」

< 発信元 > 名城大学渉外部 広報課

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目 501 番地

TEL:052-838-2006 FAX:052-833-9494 MAIL: koho@ccml.meijo-u.ac.jp

タイトル	生命活動を担うタンパク質の合成・成熟と品質管理のしくみ ー小胞体からゴルジ体に至る分泌経路恒常性と疾患・創薬ー
日時 場所	10月3日(土) 【シンポジウム】13:30～17:35 八事キャンパス新1号館7階 ライフサイエンスホール 【懇親会】17:35～19:30 八事キャンパス新1号館2階 レストラン Herb
定員 参加費	260名 ※定員に達し次第、締切 【シンポジウム】無料、申込締切:10月2日(金) 【懇親会】一般5,000円、学生3,000円(大学院生含む)、申込締切:9月25日(金) ※八事キャンパス構内には一般の方の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。お車でお越しの場合は、近隣のコインパーキングのご利用をください。
申込方法	専用フォームからお申込みください。 https://forms.gle/XMwD9AowEFzzFNzt6 
取材要領	腕章着用をお願いします。 取材していただける場合は、10月1日(木)15:00までに koho@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。 タイトルは「森教授就任記念シンポジウム/社名」とし、本文には①部署名②担当者名③電話番号④参加人数⑤車両の有無を明記ください。 ※聴講は全講演が可能ですが、撮影については各講演冒頭15分のみ。囲み取材はできません。

<森 和俊教授 略歴>

森 和俊(もり・かずとし) 名城大学薬学部教授

1958年岡山県倉敷市生まれ。1977年京都大学工学部入学後、薬学部へ転じ1981年同学部卒業。1983年京都大学大学院薬学研究科修士課程修了。1985年岐阜薬科大学助手。1987年薬学博士(京都大学)。米テキサス大学博士研究員、エイチ・エス・ピー研究所主任研究員を経て1999年京都大学大学院生命科学研究科助教授、2003年京都大学大学院理学研究科教授、2024年から京都大学高等研究院特別教授。2024年名城大学薬学部特任教授、2026年4月、名城大学薬学部教授、京都大学高等研究院特別名誉教授。カナダガードナー国際賞、アルバート・ラスカー基礎医学研究賞のほか、2016年日本学士院賞恩賜賞を受賞。2018年文化功労者。